



「帰ってきたくなるまち気仙沼」の実現に向けて政策提言書を提出

人口減少対策調査特別委員会で取りまとめ



市議会ホームページにも掲載しています。

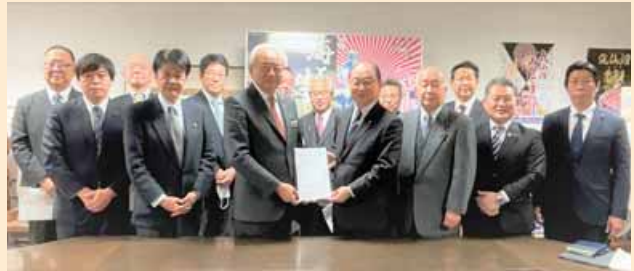
本特別委員会では、人口減少対策に関する政策提言を行うべく検討を重ね、Uターンにテーマを絞り「帰ってきたくなるまち気仙沼」を実現するために、委員同士のワークショップの実施、外部講師を招いての講演会、ワールドカフェ方式による関係団体及びUターン当事者との意見交換などを開催し、議論を深めてきました。

テーマについては、人口減少問題に対する課題は多岐にわたっており、議会としての立場からの提言を考えた場合、総花的ではなくテーマを絞って調査し、深く掘り下げた提言を行うべきとの結論に至り決定しました。

令和5年9月、特別委員会内に政策提言の骨子案作成のためのプロジェクトチームを設置し、7回の会議を経て「人口減少対策」に関する政策提言書(案)として取りまとめました。

その後、令和6年2月1日の特別委員会で提言内容の最終確認を行い、同年2月9日に全員協議会に諮り内容を確定しました。

提言内容に関しては、それぞれ「気仙沼を築立つ前」「気仙沼を離れてから」「気仙沼に帰ってきてから」という3つのステージに分け、7つの大項目、



特別委員会委員が揃って提言書を提出

24の小項目で構成された政策を盛り込み、同年2月20日に議長から市長に提言書を提出しました。

市当局は、令和6年度に「(仮称)けせんぬま未来アクションプラン」の発表を予定しており、けせんぬま未来人口会議の結果や、気仙沼商工会議所の提言、そして議会からの提言を踏まえ、現在内容の検討を行っています。

【「帰ってきたくなるまち気仙沼」を実現するための提言】

- 提言1 政策をステージに分けて整理することで漏れや重複を防ぐ
- 提言2 「ふるさとを大切にしたい」と思われるまちに
- 提言3 「船出」の後もつながり続ける仕組みづくり
- 提言4 「ふるさとに貢献したい」という思いを形に
- 提言5 「帰りたい」と思われる職場と子育て環境づくり
- 提言6 「帰ってきてから」の暮らしに選択肢を
- 提言7 「市民が主役のまちづくり」へ情報と危機感の共有を

常任委員会 活動報告

委員会が所管する事務を調査した状況をお伝えします。

基本理念を基にした8つの基本施策が示され、昨年9月に提出した「障害福祉」に関する政策提言書と照らし合わせて確認しました。「就学前児童の発達支援」では、伴走型の切れ目のない支援に努めることとし、保育所や幼稚園などにおける

基本理念は「ともに生き心がかよう気仙沼」
第3次気仙沼市障害者福祉計画(案)は、障害者の自立と社会参加の促進に向け、「障害者計画」「障害福祉計画」「障害児福祉計画」の3つの計画を総合的・計画的に進めるため、一体的に策定しているものです。
政策提言の反映は

障害福祉計画 新たに策定

民生常任委員会

2月6日



障害児受け入れ態勢の充実などが盛り込まれています。「地域生活支援拠点等整備」では、地域の体制づくりの調整役として、気仙沼市障害者生活支援センターに拠点コーディネーターを配置し、緊急時の短期入所施設での受け入れなど、親亡き後を見据えた支援を行います。「障害者差別に関する施策」では、不当な差別的取扱いの禁止や障害がある人への合理的配慮などの徹底を図るとともに、市民や事業者への周知・啓発活動を行うことが盛り込まれました。当局からの説明に対し、委員からは、計画で触れていない障害者差別解消の条例化についてなどの質問が出されました。